

令和3年度地方創生臨時交付金事業 事業効果検証資料

事業名	公共的空間安全・安心確保事業（予備費）※検温器設置
事業期間	令和3年4月14日～令和4年3月31日
事業費	774,400円
事業対象	来館者（観光拠点センターにかほっと）
実施方法	直営・委託・補助金交付・助成金交付
事業目的	コロナ禍においても、感染防止対策を実施し、各種活動ができるよう公共施設等の感染防止対策をおこなう。
事業概要	<p>感染防止対策として、施設入口に検温器（体温測定カメラシステム）を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点センターにかほっとに4台設置。
スケジュール	<p>令和3年</p> <p>4月12日 業務執行</p> <p>4月14日 見積 → 業者決定</p> <p>4月14日 契約締結</p> <p>4月28日 納品、検査</p> <p>4月28日 利用開始</p>
効果検証	<p>他県との往来が多い本市においては、多種多様な機会でも県外客が訪れることにより、しっかりとした感染症対策が求められる。今回、検温器を主要な入口に設置することにより、対策の徹底している施設との位置づけで利用してもらえる安堵感、また自身の体調管理、他者への配慮などに活用されることから、利用者からの目線・施設管理者側双方向で、設置したことによる安全性・安心感につながっている。</p>

令和3年度地方創生臨時交付金事業 事業効果検証資料

事業名	公共的空間安全・安心確保事業（予備費）※検温器設置
事業期間	令和3年5月12日～令和4年3月31日
事業費	364,320円
事業対象	来館者（多目的屋内運動場）
実施方法	直営委託・補助金交付・助成金交付
事業目的	コロナ禍においても、感染防止対策を徹底したうえで各種活動等を継続できるよう、公共施設等の感染防止対策を行う。
事業概要	施設出入口に設置する検温器（体温測定カメラシステム）整備費用
スケジュール	令和3年 5月12日 予備費充用 → 業務執行 5月14日 入札 → 業者決定 → 契約締結 5月20日 納品 → 納品検収 → 利用開始
効果検証	コロナ禍において、入館者に対し、自動で検温、手消毒が行えるようになり、感染対策を徹底しながらの、施設の運用が可能となった。新たな施設と言う事もあり、オープン時から多数の利用者があったものの、感染対策を徹底する事ができ、感染を抑制しながら施設の運用が可能となった。